

---

# 2025年3月期 決算説明会

---

2025年5月23日



**極東貿易株式会社**

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

TOKYO, JAPAN

- ・ 2025年3月期業績
- ・ 中期経営計画「KBK プラスワン 2025」  
の取組み
- ・ 2026年3月期業績予想
- ・ 株主還元

# 2025年3月期業績

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	前年 同期比	増減率
売上高	43,660	52,982	9,322	21.4%
売上 総利益	9,115	10,931	1,816	19.9%
営業利益	1,112	2,038	926	83.3%
経常利益	1,487	2,525	1,038	69.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,156	3,717 (1,580)	2,561 (424)	221.5% (36.7%)

## 増収増益要因

### 【好調事業】

- ・鉄鋼、化学プラント設備事業向け
- ・地震計関連事業向け
- ・自動車部品用樹脂事業向け

### 【M&A投資】

2社が新たにグループ入り、  
売上67.7億円増加

- ・三幸商会 (24/10～25/3)
- ・ウエルストン (24/11～25/3)

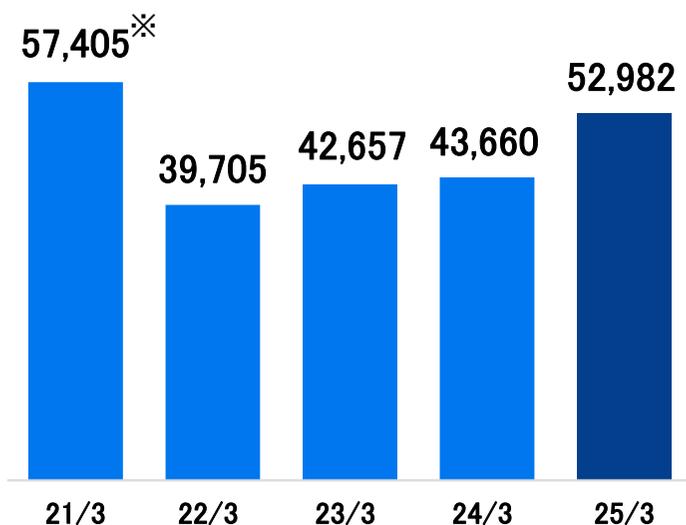
特別利益として、負ののれん  
発生益21.3億円計上

カッコ内は、負ののれん発生益2,137百万円を除いた当期純利益

(単位：百万円)



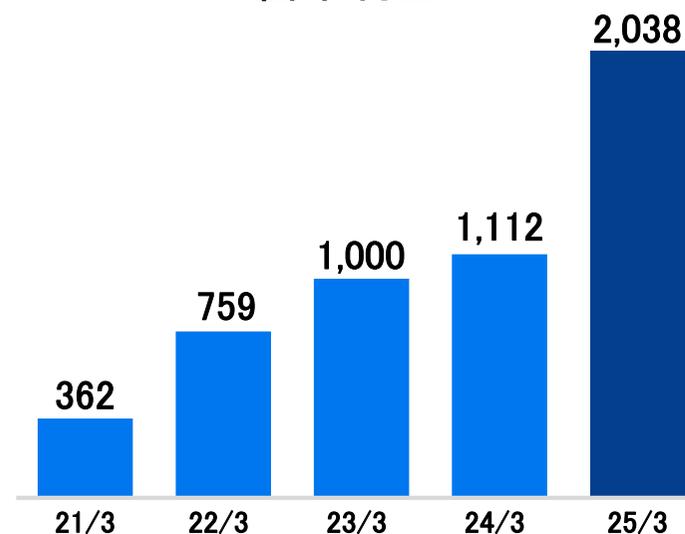
## 売上高



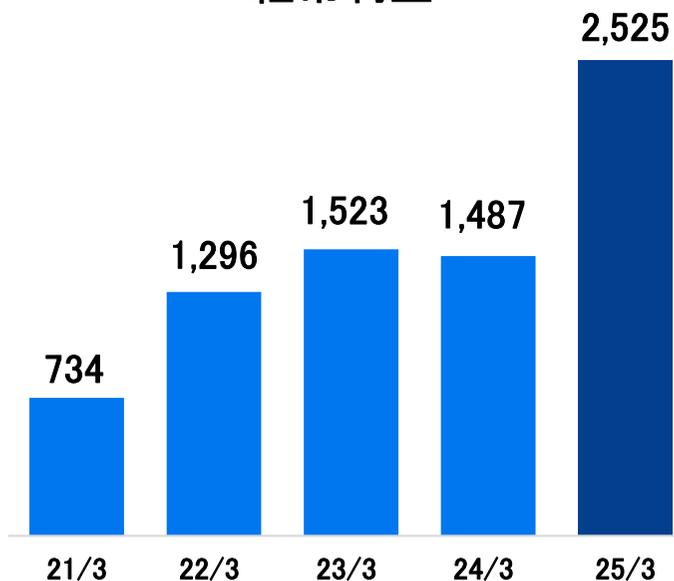
※22/03より「収益認識に関する会計基準」適用により一部の売上高が純額表示

## 営業利益

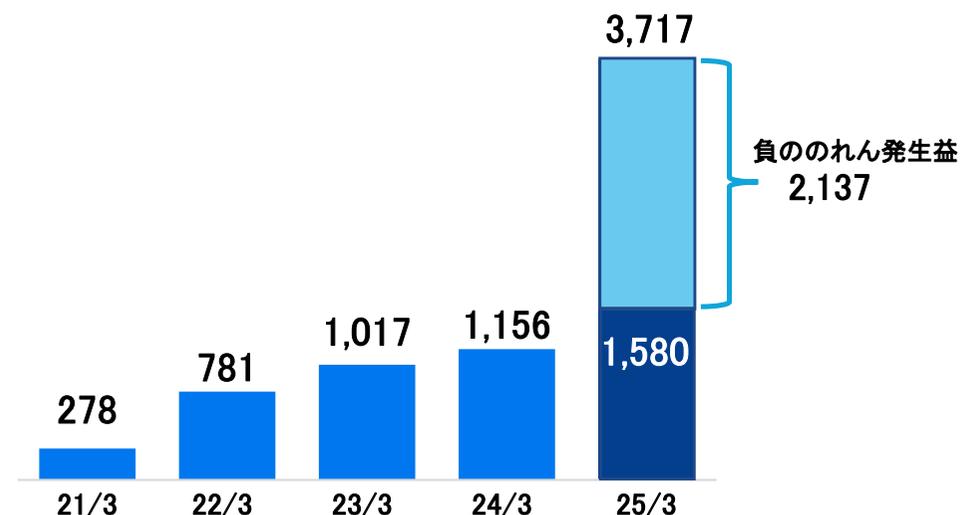
(単位：百万円)



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益



(単位:百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	増減
流動資産	37,334	43,688	6,353
固定資産	12,311	14,321	2,009
資産合計	49,646	58,010	8,363
流動負債	21,204	24,801	3,597
固定負債	2,752	3,852	1,100
負債合計	23,956	28,653	4,697
株主資本	21,500	23,914	2,413
その他の包括利益累計額	4,184	5,441	1,257
純資産合計	25,690	29,356	3,666
自己資本比率	51.7%	50.6%	-

## 主な増減要因

### 【 M&A投資 】

2社が新たにグループ入りで、  
資産93億円増加

負ののれん発生益等により  
純資産増加

自己資本比率は50.6%  
財務の健全性を維持

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲1,010	▲798	売上高の伸長に伴い 運転資本の増加が継続
投資活動によるキャッシュ・フロー	353	245	M&A2件合計の 「取得の対価」：47億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲498	1,120	「子会社株式の取得による 支出」：19億円
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>▲965</b>	<b>▲1,827</b>	※定期預金による増減を除く
<b>基礎営業キャッシュ・フロー</b>	<b>1,349</b>	<b>2,016</b>	

(営業活動によるキャッシュ・フローから運転資本の増減に係るキャッシュ・フローを除いた値)

## 産業設備関連部門

(単位:百万円)

2024年3月期		2025年3月期		前年同期比			
売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
12,323	212	14,744	1,038	2,421	19.6%	826	389.6%

## 前年同期に比べ大幅な増収増益

## 産業インフラ関連事業

- 国内鉄鋼・化学プラント向け設備等の事業、地震・振動計測機器事業が好調に推移
- 海外プラント向け機器事業も引き続き好調を維持

## 資源・計測機関連事業

- 航空宇宙・防衛関連機器が好調に推移
- 掘削等の資源開発機器事業も好調に推移



## 産業素材関連部門

(単位:百万円)

2024年3月期		2025年3月期		前年同期比			
売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
13,157	194	19,444	141	6,287	47.8%	▲53	▲27.3%

## 前年同期に比べ増収減益

## 機能素材関連事業

- 自動車部品用樹脂などが、堅調な米国経済を背景に北米向けに好調に推移

## 生活・環境関連事業

- 食品用副資材等の輸入商材が為替の影響により低調に推移

- 連結子会社化した三幸商会の業績(24/10~25/3)も寄与し、M&A経費(213百万円)を除くとセグメント利益は増益

## 機械部品関連部門

(単位:百万円)

2024年3月期		2025年3月期		前年同期比			
売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
18,180	705	18,792	858	612	3.4%	153	21.7%

## 前年同期に比べ増収増益

## 精密ファスナー(ねじ類)関連事業

- 産業機械および建設機械向けが若干減速するも、全体では前年並みを確保

## 特殊スプリング関連事業

- 構造改革による収益性の改善

- 連結子会社化した株式会社ウエルストンの業績も寄与

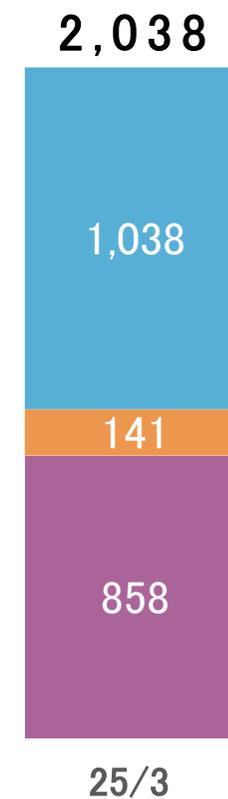
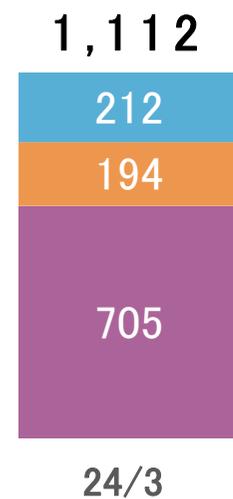
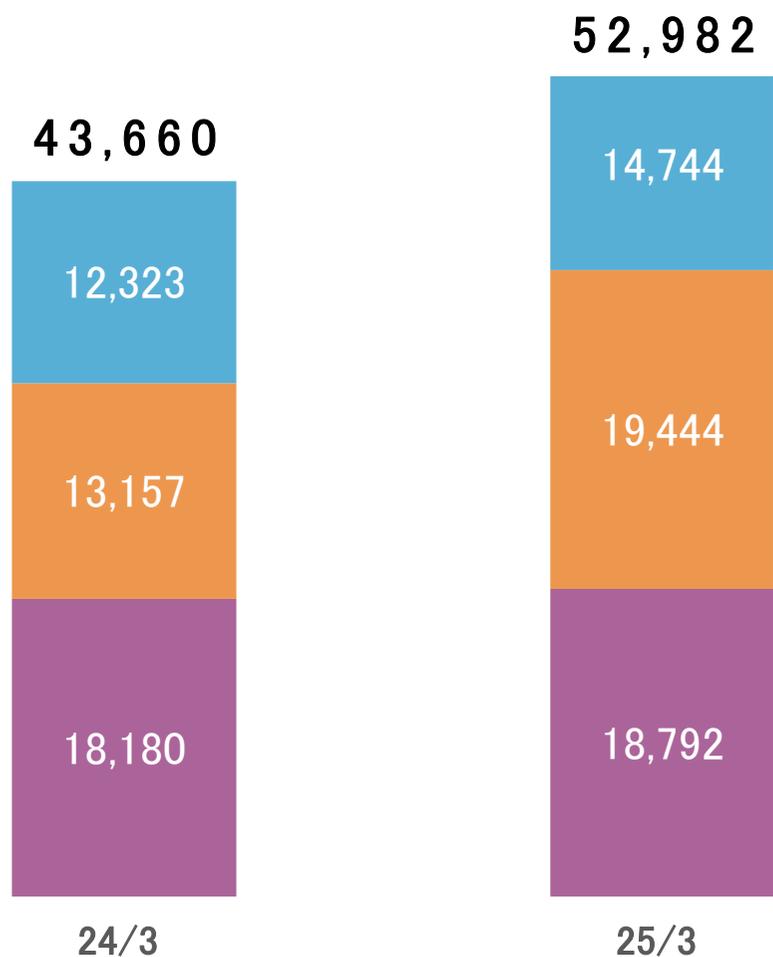


## 売上高

## セグメント利益

■ 産業設備関連 ■ 産業素材関連 ■ 機械部品関連

(単位: 百万円)



**中期経営計画  
「KBK プラスワン 2025」の  
取組み**

## 3つの重点施策



株主価値に資する  
資本政策の実行



サステナブルな  
社会の実現に向  
けた事業展開と  
投資の実行



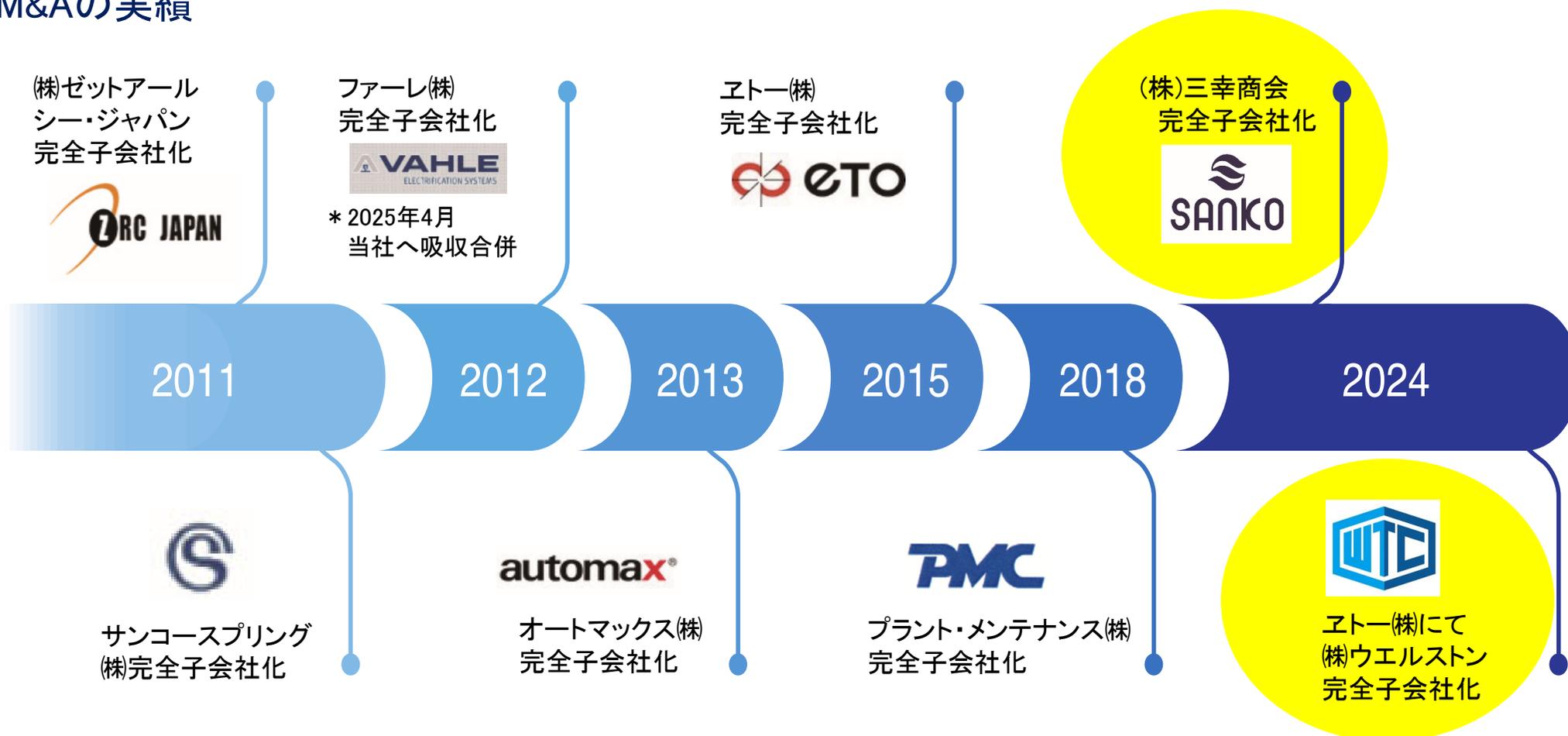
大きく変動していく社会で  
「想像」し「創造」できる  
人材の育成

M&Aの目的: 更なる成長を実現し、事業環境の変化に対応するため

M&Aと事業投資を中心に、様々な施策を推し進め、事業ポートフォリオの組み換えにも注力

収益基盤の拡大と企業価値の向上を目指す

## ▶M&Aの実績

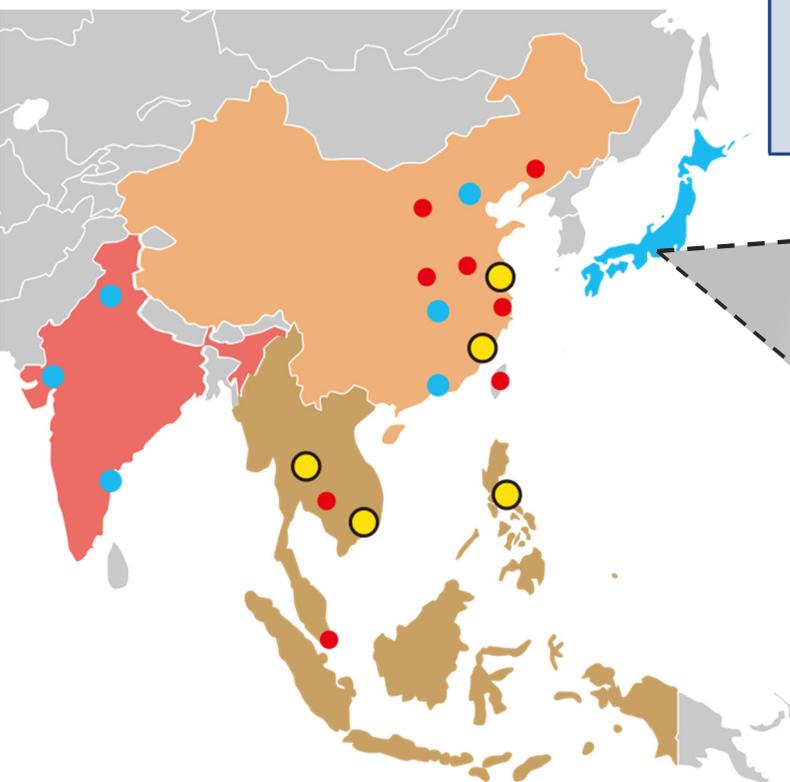
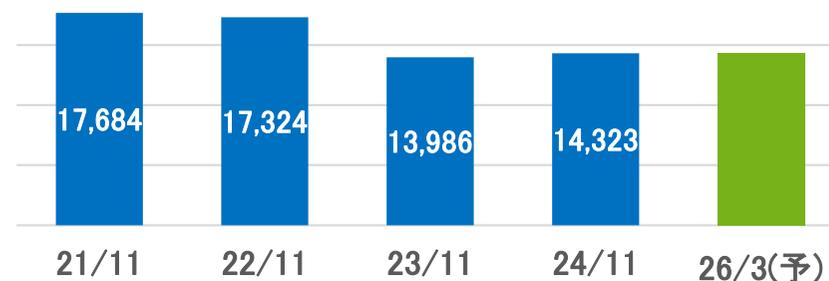


## 三幸商会の概要

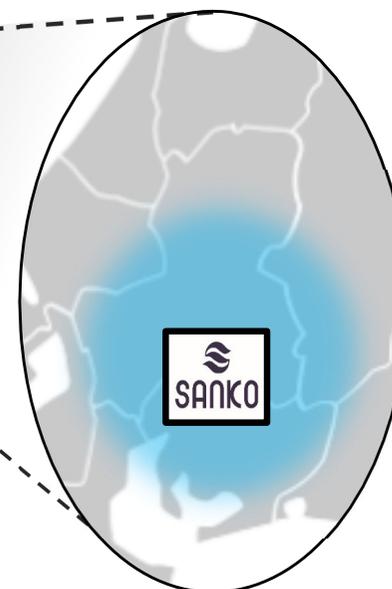
- ・2024年10月：三幸商会を連結子会社化
- ・主な取り扱い商材：エンジニアリングプラスチック・溶射材
- ・東海地区を基盤とする多数の大手企業が顧客
- ・海外拠点：香港、上海、タイ、ベトナム、フィリピン
- ・電気製品、電動工具、自動車部品、半導体関連など幅広い産業分野に貢献

## 売上高推移 (単位：百万円)

\* 単純合算ベース



極東貿易グループと人や海外拠点などの経営資源を共有することで、新たな商流の構築やシナジーの創出を図る



- (株)三幸商会 拠点一覧
- KBK海外拠点
- KBKグループ会社拠点

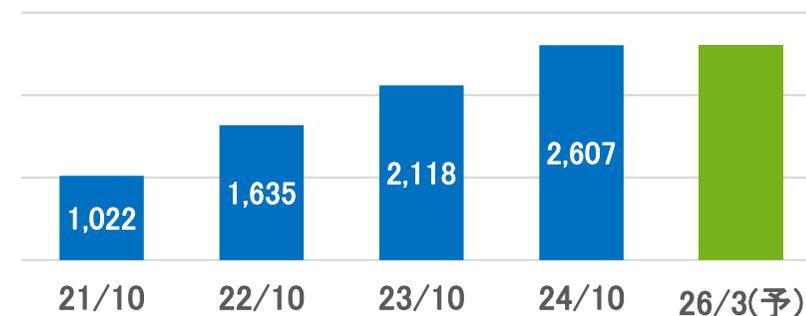
# ウエルストン(M&A)について

## ウエルストンの概要

- ・ 2024年11月：エトーを通じて連結子会社化
- ・ 船舶補修部品の輸出や国内卸しを主体とする専門商社
- ・ 幅広い仕入先とアセアンを中心とした多くの海外顧客を保有
- ・ 拡大する船舶のメンテナンス需要を取り込み、グローバルに展開

## 売上高推移

(単位：百万円)



新たに船舶用エンジンなどの補修部品市場に参入し  
エトーの事業基盤の強化を図る



## ▶事業投資の実行 ①

再生可能エネルギー分野: 洋上風力発電関連事業

連結子会社 株式会社TWD Japan

再生可能エネルギー



洋上風力発電の大型風車を建設する際に使用する  
特殊大型治具等の設計・製作会社

・オランダ TWD B.V社の国内総代理店

TWD B.V社は、当該分野の建設機器の設計等において、全世界で半分以上のシェアを持ち、高い評価を獲得

・当該分野の建設工事に使われる大型治具等は一品一様の設計製作が必要

TWD Japanは日本の顧客へソリューションを展開、事業の拡大を目指す



## ▶事業投資の実行 ①

### 再生可能エネルギー分野：洋上風力発電関連事業

- ・極東貿易は海洋資源の開発事業で培った経験、知見、海外仕入先を保有
- ・これらを活かして、環境調査などの洋上風力発電に関連する事業に注力
- ・洋上風力発電関連事業を通して、脱炭素化社会の実現に向け貢献

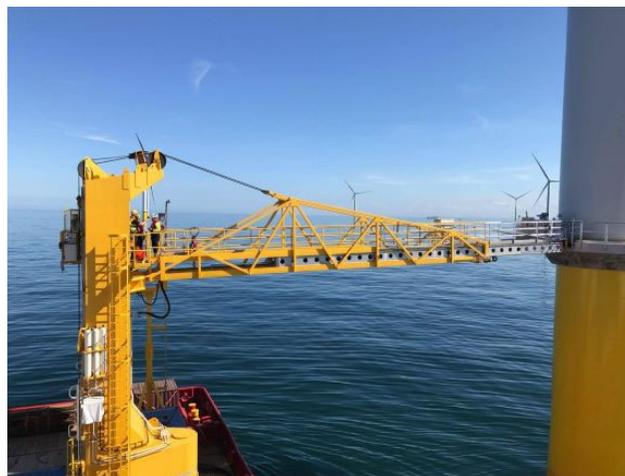
再生可能エネルギー



洋上風力発電関連事業の建設に係る機器の販売、  
オペレーションやメンテナンスなどのサービス事業の展開を目指す



鳥類調査レーダーシステム



洋上特殊タラップ(舷梯)システム  
(ギャングウェイ)



海中監視/作業用水中ロボット  
(ROV)



風況調査/  
洋上風況観測用ブイ(FLV)

## ▶事業投資の実行 ②

### 地震計関連事業

#### 連結子会社 日本システム工業株式会社



- ・極東貿易は長年、地震計・振動計関連機器の販売事業に従事
- ・2022年から子会社の日本システム工業が地震計の製造・保守事業を開始

#### ■日本システム工業の地震計の主な用途

- ・鉄道、新幹線沿線、橋梁など：非常時に警報を発し、列車を停車させる
- ・火山や地下深部：火山活動観測、高感度地震観測のための地殻活動観測装置として
- ・原子力発電所：原子炉の緊急停止のために、制御用地震計を設置

今後も、社会の安心・安全ニーズに貢献

安心・安全



気象庁  
緊急地震速報  
にも活用



# 2026年3月期業績予想

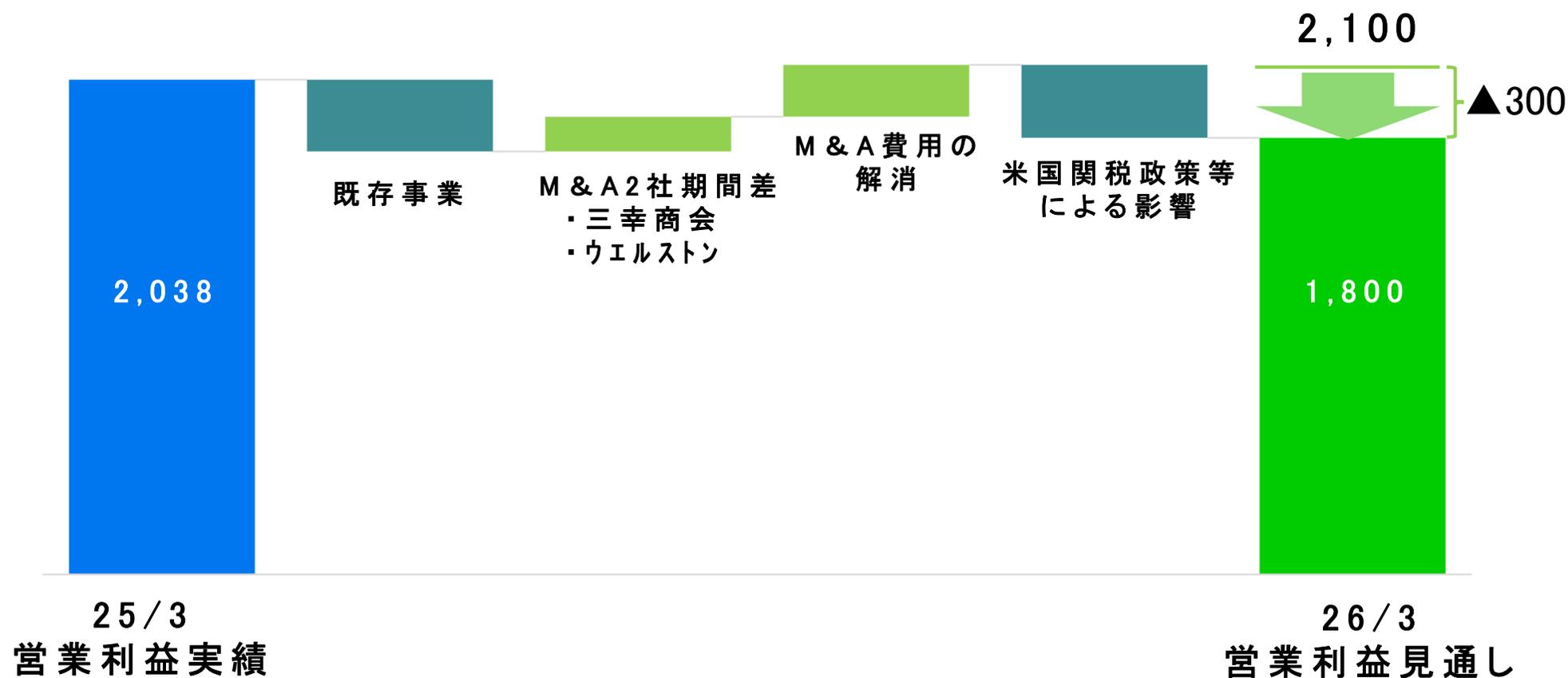
(単位:百万円)

連結	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想	対前期増減	
売上高	52,982	57,000	4,018	7.6%
営業利益	2,038	1,800	▲238	▲11.7%
経常利益	2,525	2,100	▲425	▲16.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,717 (1,580)	1,600	▲2,117 (20)	▲57.0% (1.3%)

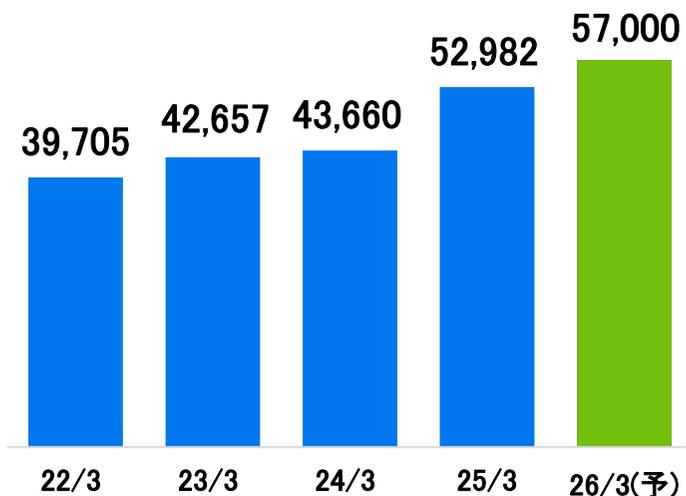
カッコ内は、負ののれん発生益2,137百万円を除いた当期純利益

当業績予想には米国関税政策によるマイナスの影響などを織り込んでおります。

(単位：百万円)

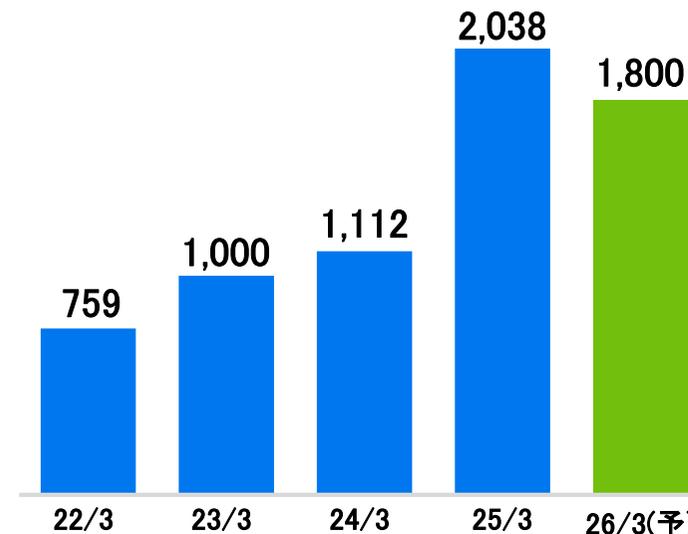


## 売上高

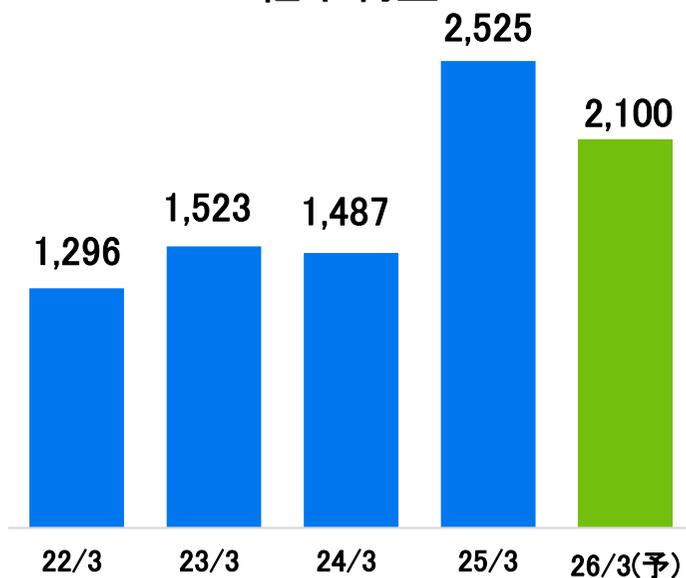


## 営業利益

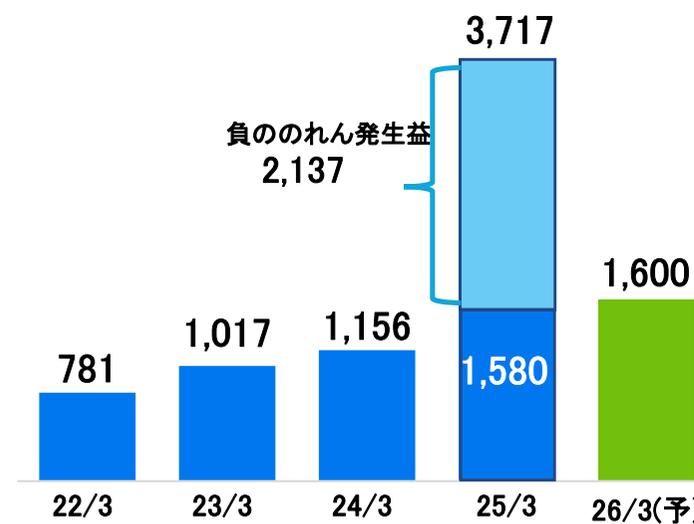
(単位：百万円)



## 経常利益



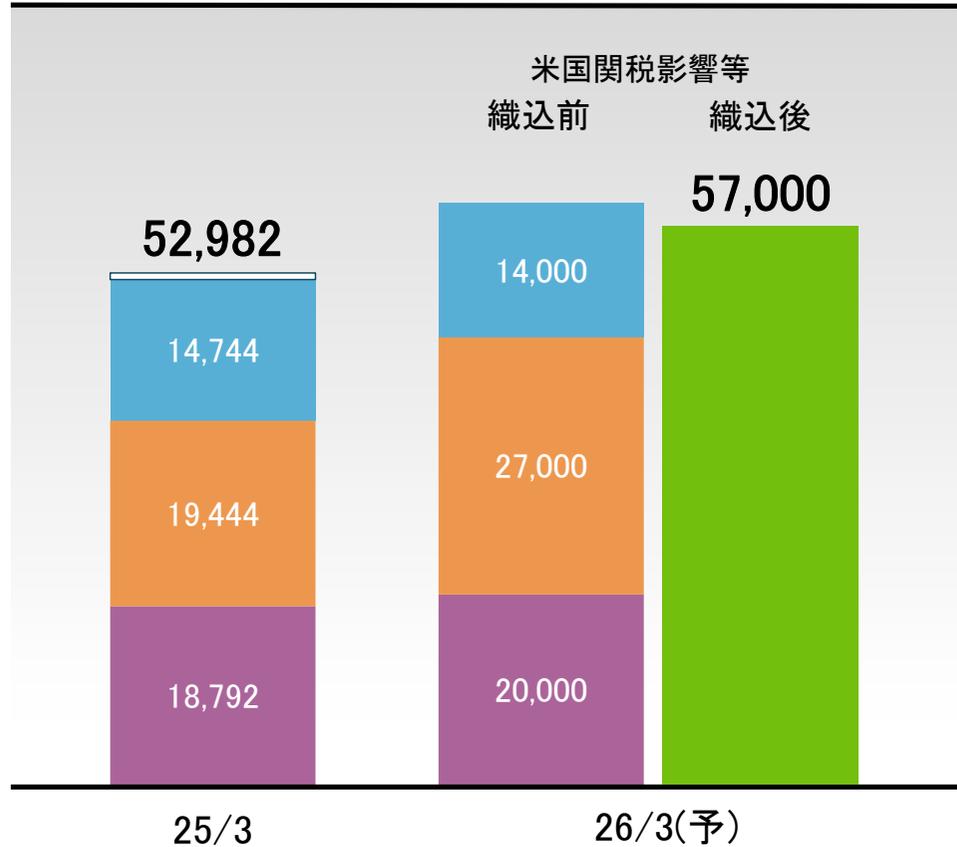
## 親会社株主に帰属する当期純利益



■ 産業設備関連 ■ 産業素材関連 ■ 機械部品関連 □ 全社調整額

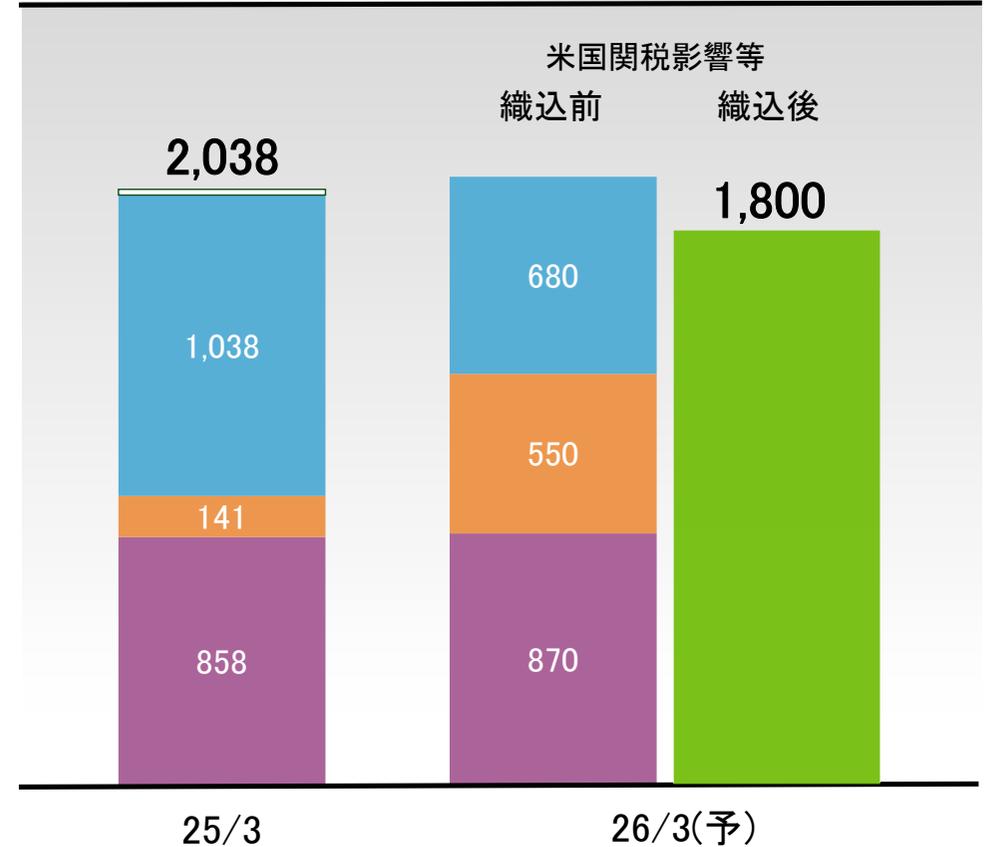
## ■ 売上高

(単位:百万円)

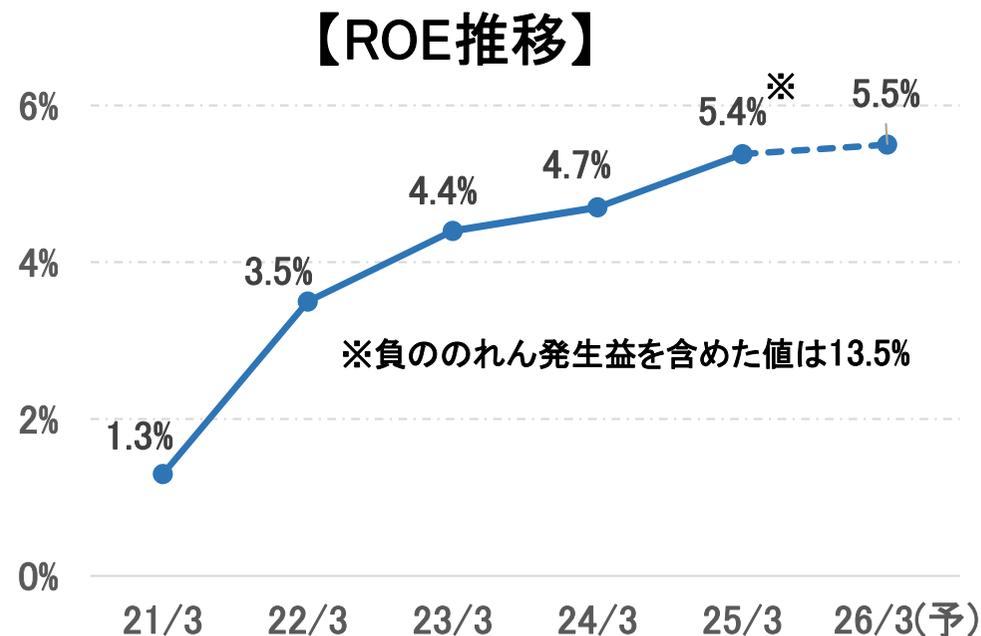
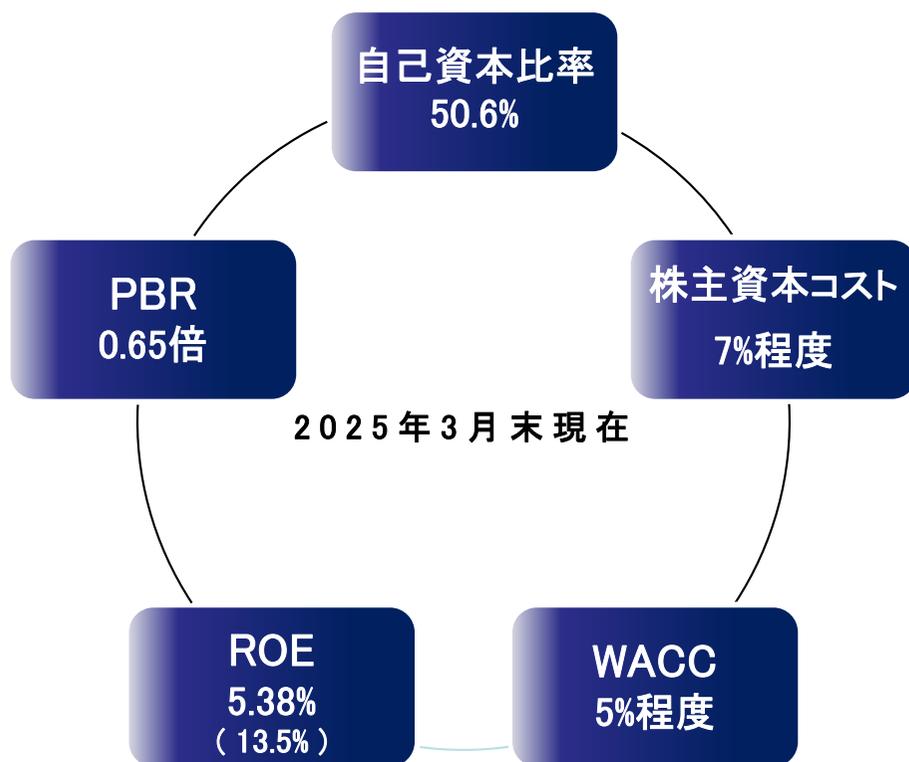


## ■ セグメント利益

(単位:百万円)



産業設備関連部門	売上高は概ね横ばいとなるも、2025年3月期の好調の反動により減益
産業素材関連部門	生活・環境関連事業の回復や三幸商会の通期寄与、M&A費用の解消により大幅な増収増益
機械部品関連部門	精密ファスナー関連事業が堅調に推移し、ウエルストンの通期寄与により増収増益



	中計最終年度目標	2026年3月期 通期業績見通し
連結経常利益	19億円	21億円
ROE	5.4%	5.5%

# 株主還元

## 2025年2月13日の当社取締役会での決議事項を踏まえた、自己株式の取得および消却の進捗状況

### 1. 取得の状況（2025年4月30日時点）

(1)	取得対象株式の種類	当社普通株式
(2)	取得期間	2025年2月14日～2026年2月13日
(3)	取得済み株式総数	205,400株 / 350,000株(上限) ※発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.84% 【進捗率】58.7%
(4)	株式の取得価額の総額	330,671,466円 / 500,000,000円(上限) 【進捗率】66.1%

### 2. 消却の実績および予定

(1)	消却する株式の種類	当社普通株式
(2)	消却実績	2025年3月31日：520,000株
(3)	消却予定	2026年3月31日：上記1.に基づき取得した自己株式の全数

<ご参考> 2025年4月30日時点

発行済株式総数(自己株式を除く)……12,339,794株

自己株式数 ……………132,042株

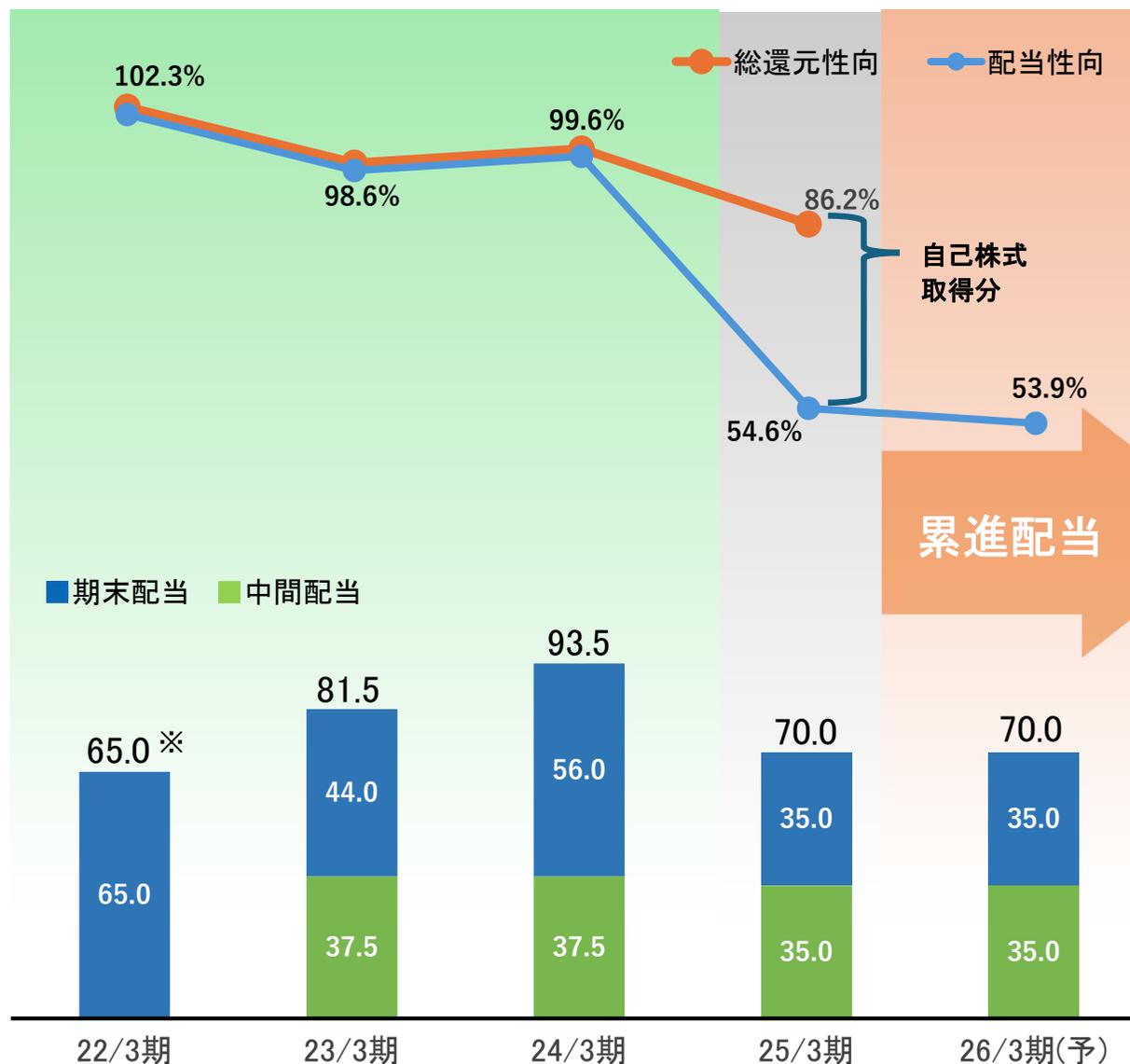
## ▶極東貿易の利益配分の基本方針

株主の皆様への継続的な成果の還元と企業価値の持続的向上を実現するため適正な資本政策の下、将来の事業展開と財務状況、収益動向などを総合的に勘案した配当を実施

### 累進配当の採用

- ・原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う累進配当を2026年3月期から採用
- ・配当性向は50%を目安

2025年3月期の配当性向・総還元性向の算出にあたり、当期純利益から、負ののれん発生益を除いて算出しております。



※) 2022年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、上記グラフの年間配当金については、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。



### 見通しに関する注意事項

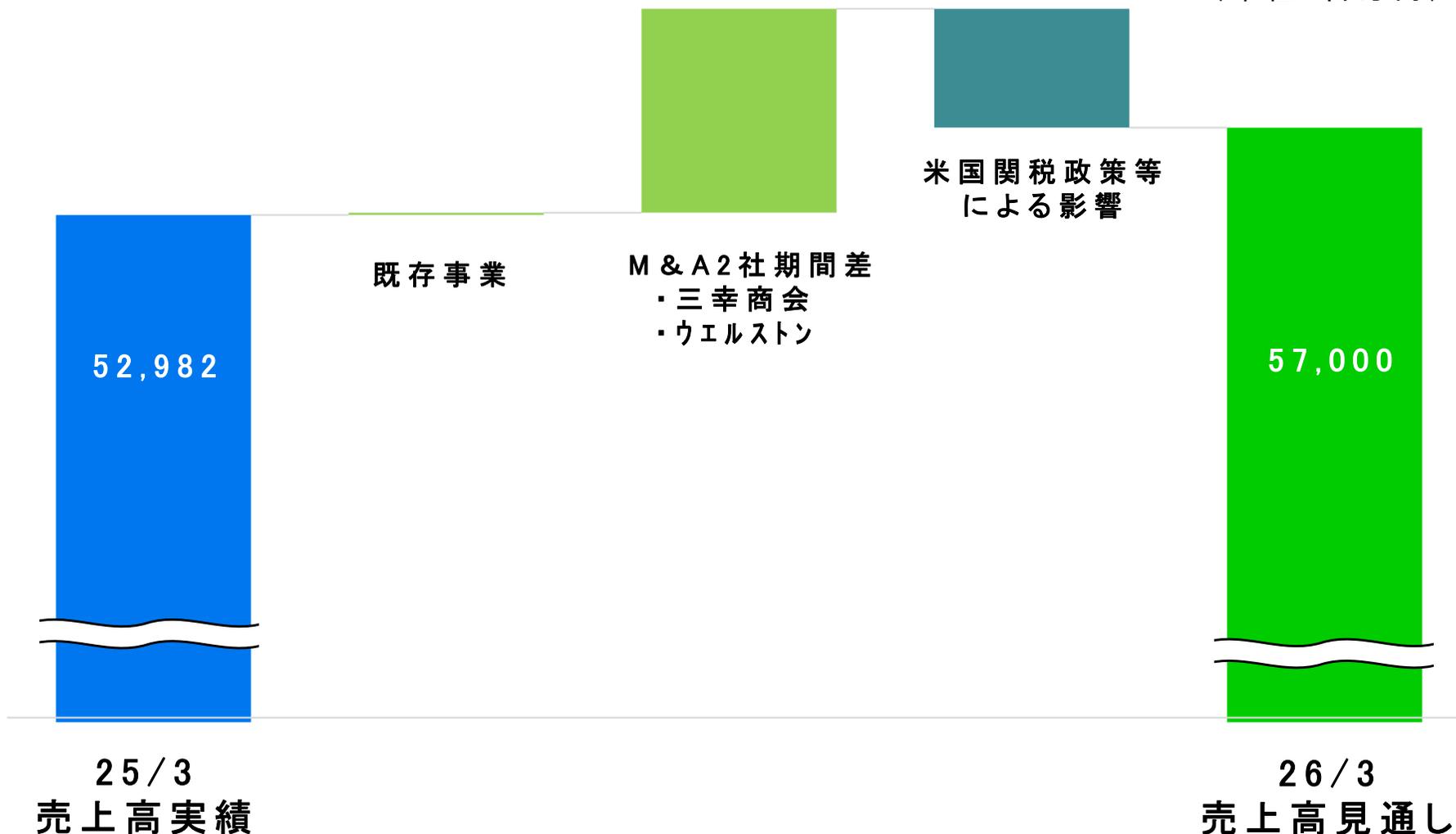
この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。

# Appendix

# 2026年3月期売上高見通しと当期の比較

(単位:百万円)

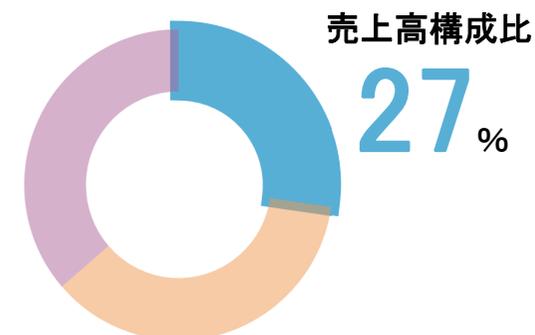


# 産業設備関連部門

## ■ 事業概要

産業インフラ関連事業… 国内外鉄鋼・化学プラント向け各種機器・設備、  
海外プラント向け機器、地震計

資源・計測機関連事業… 海洋探査・掘削など資源開発機器、洋上風力発電関連、  
航空宇宙・防衛関連、自動車開発用試験装置、  
移動体用給電装置



## ■ 主な事業



国内外鉄鋼・化学プラント  
向け各種機器・設備



海外プラント向け機器



地震計関連



移動体用給電装置



資源開発機器関連



洋上風力発電関連



航空宇宙・防衛関連



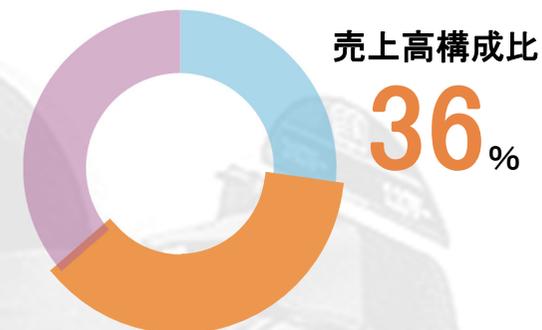
自動車開発用試験装置

# 産業素材関連部門

## ■ 事業概要

機能素材関連事業 … 国内外向け自動車部品用を中心としたコーティング剤、炭素繊維・複合材料、エンジニアリングプラスチック

生活・環境関連事業… 食品業界向け資材・設備、バイオプロダクツ関連、耐熱・防錆材料など



## ■ 主な事業



自動車部品用コーティング剤



炭素繊維・複合材料関連



エンジニアリングプラスチック



食品業界向け資材・設備



バイオプロダクツ関連



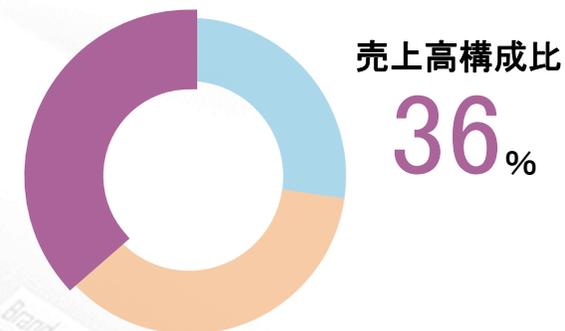
耐熱・防錆材料など

# 機械部品関連部門

## ■ 事業概要

精密ファスナー(特殊ねじ類)関連事業…エトー(株)の産業用精密ファスナー、  
金属部品など

特殊スプリング関連事業…サンコースプリング(株)の定荷重ばね、ぜんまいなど  
船舶補修部品事業…(株)ウエルストンの船舶用エンジンなどの補修部品



## ■ 主な事業



精密ファスナー(特殊ねじ類)関連事業



特殊スプリング関連事業



船舶補修部品事業